

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成30年9月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕9月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス27 ～前月比7ポイントの悪化～
- ◆ 原材料価格・燃料価格の上昇が経営を圧迫
- ◆ 先月に引き続き、台風などの天候要因が各業種に悪影響

〔Ⅱ〕9月の概況

当月の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転1、悪化28で、D I 値はマイナス27となり、前月のD I 値マイナス20に対し、7ポイントの悪化となった。

業種別の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス28となり、前月比で11ポイントの悪化、非製造業のD I 値はマイナス26となり、前月比で2ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、毛織物の1業種(前月比-4業種)。

また、「悪化」と回答した業種は20業種(前月比+1業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス23で前月比1ポイントの改善、販売価格D I 値はマイナス6で前月比8ポイントの悪化、収益状況D I 値はマイナス35で前月比2ポイントの悪化、資金繰りD I 値はマイナス13で前月比5ポイントの悪化、雇用人員D I 値はマイナス3で前月比3ポイントの改善となった。

コメントを見ると、「可児工業団地全体の使用電力量は前年同月比11.4%増加となった。以前と比べ上げ幅が小さくなってきたが12ヵ月連続でプラスとなり、景況感は好調である。(可児工業団地)」、「仕事量については、公共事業関連は低迷するも、自動車関連は好調、工作機械は堅調、造船関連が若干良くなってきた。電気料金の値下げ、新電力会社と既存の電力会社間で競争が激化し安くなってきている。(鋳物)」などプラスの内容が報告された。

マイナスの報告として、「原油価格の上昇、輸入パルプ価格の上昇等々によりコストアップが続いていることが挙げられる。(機械すき和紙)」、「軽油価格の高騰が止まらず、燃料経費の圧迫は厳しさを増している。乗務員をフル回転させて輸送対応するが、コンプライアンスもあり運ぶ需要に答えきれていない。この状況は年内続くと予想される。(貨物運送(岐阜地区))」など原材料価格・燃料価格の上昇による経営への悪影響を伝える内容が多く報告されている。

また、「大きな台風が毎週末のように発生したため人の動きが減少したこと、災害により野菜が高騰し嗜好品であるお菓子購入が抑えられたこと、購買意欲が低いことなどが挙げられる。(菓子)」、「9月は、度重なる悪天候による鵜飼の中止が計13日間にも渡り、過去には例がない程となった。その結果、岐阜方面への旅行の取り止めが増加し、組合員の平均で約10%の売上高の減少となった。(長良川畔旅館)」など台風などの天候要因による悪影響を伝える内容も数多く報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加12、減少35でD I値はマイナス23となり、前月のマイナス24に対し、1ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は9業種（前月比－4業種）あり、毛織物、縫製（既製服）、東濃ひのき、砕石生産、可児工業団地、青果販売、理容・美容業、木造建築、軽運送である。

売上高が減少した業種は25業種（前月比－5業種）あり、特に木材・木製品、商店街、サービス業の区分で多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇8、低下14でD I値はマイナス6となり、前月の2に対し、8ポイントの悪化となった。

販売価格が上昇した業種は6業種（前月比－4業種）あり、毛織物、縫製（既製服）、青果販売、石油製品販売、生花販売、貨物運送（県域）である。

販売価格が低下した業種は10業種（前月比＋1業種）あり、特に商店街の区分で多かった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化40でD I値はマイナス35となり、前月のマイナス33に対し、2ポイントの悪化となった。

収益状況が好転した業種は4業種（前月比±0業種）あり、撚糸、縫製（既製服）、東濃ひのき、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は28業種（前月比＋1業種）あり、特に食料品、木材・木製品、窯業・土石、卸売業、商店街、サービス業の区分で多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転1、悪化14でD I値はマイナス13となり、前月のマイナス8に対し、5ポイントの悪化となった。

資金繰りが好転した業種は1業種（前月比－1業種）あり、可児工業団地である。

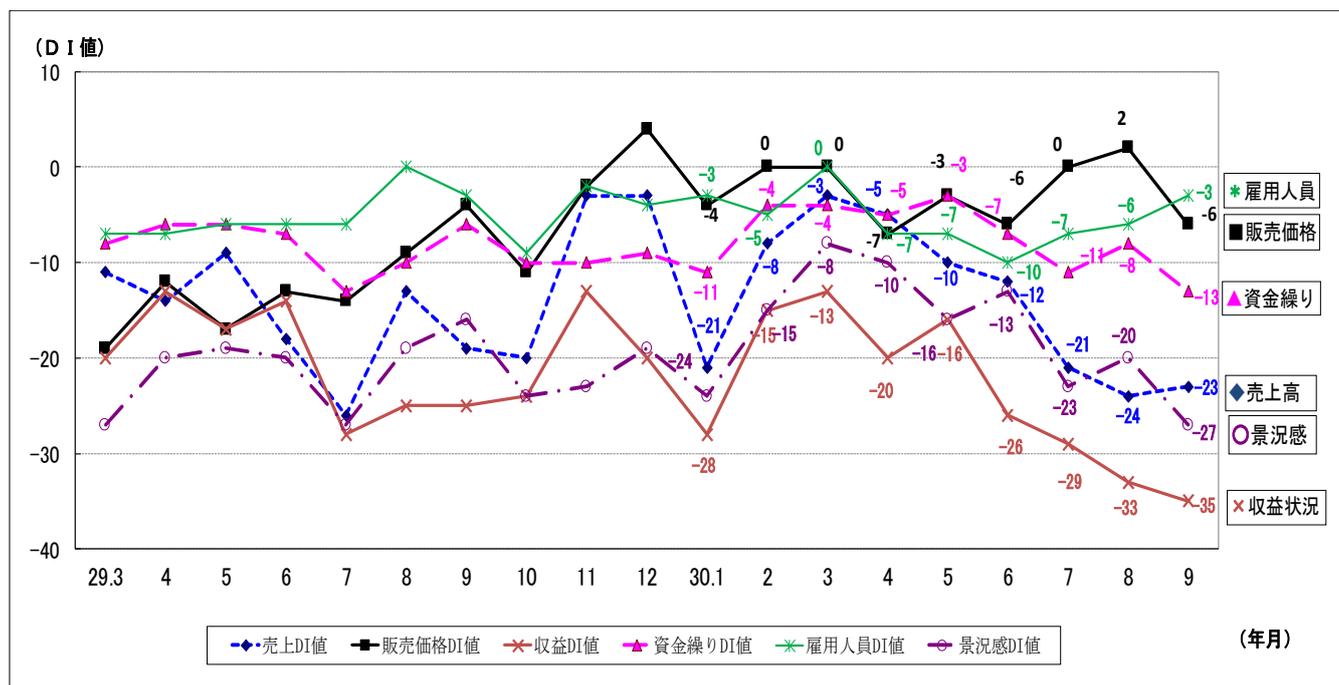
資金繰りが悪化した業種は10業種（前月比＋3業種）あり、特にサービス業の区分で多かった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転5、悪化8でD I値はマイナス3となり、前月のマイナス6に対し、3ポイントの改善となった。

雇用人員が増加した業種は4業種（前月比＋1業種）あり、米菓、縫製（既製服）、鋳物、可児工業団地である。

雇用人員が減少した業種は6業種（前月比－1業種）であった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (9月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	△	△	△	△	△
	食肉(国産)	▲	△	▲	▲	△	▲
	菓子	▲	△	▲	△	△	▲
	米菓	△	△	△	△	○	△
	製麺	△	△	▲	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	○	△	△	△
	ニット工業	△	△	△	△	▲	△
	毛織物	○	○	△	△	△	○
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	△	△	△	▲
	婦人・子供服	△	▲	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	○	○	○	△	○	△
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	▲	△	▲	△	△	△
	東濃ひのき	○	△	○	△	△	△
紙・紙加工品	機械すき和紙	△	△	△	△	▲	▲
	特殊紙	△	△	▲	▲	△	▲
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	△	△	▲	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	▲	△	▲
	タイル	△	▲	▲	△	△	▲
	窯業原料	▲	△	▲	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	△	△	△	△	○	△
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	△	△	△	△	△	△
	県金属工業団地	▲	△	△	△	△	△
	可児工業団地	○	△	△	○	○	△
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	▲	△	▲	△	△	▲

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	△	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	△	▲	▲	△	△	△
小売業	青果販売	○	○	△	△	△	△
	水産物商業	▲	△	▲	△	△	▲
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	△	○	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)	△	△	△	△	△	△
	生花販売	▲	○	△	△	△	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	△	△	▲
	商店街(大垣)	▲	▲	▲	△	△	▲
	商店街(高山)	▲	△	▲	▲	△	▲
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	▲	△	▲	▲	△	△
	下呂温泉旅館	▲	△	▲	▲	△	▲
	高山旅館	▲	△	▲	▲	△	▲

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	△	△	▲	△	△	△
	広告美術	△	▲	▲	▲	△	△
	旅行業	▲	△	▲	△	△	△
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	△	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	▲	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
運輸業	貨物運送(県域)	△	○	▲	△	▲	△
	軽運送	○	△	△	△	△	△
	その他の非製造業	▲	△	△	△	△	△

凡例	○ ⇒	[増加]、[上昇]、[好転]
	△ ⇒	[不変]
	▲ ⇒	[減少]、[下降]、[悪化]